

佐賀県感染症発生動向調査速報

平成17年第36週 平成17年9月5日(月)～平成17年9月11日(日)

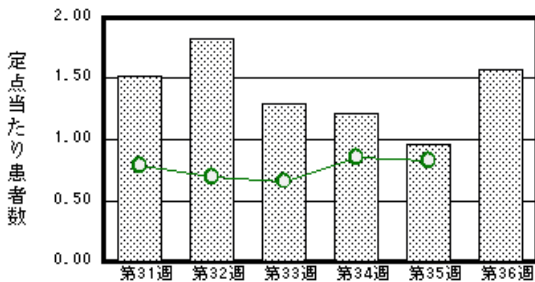
<http://www.kansen.pref.saga.jp>

佐賀県感染症情報センター

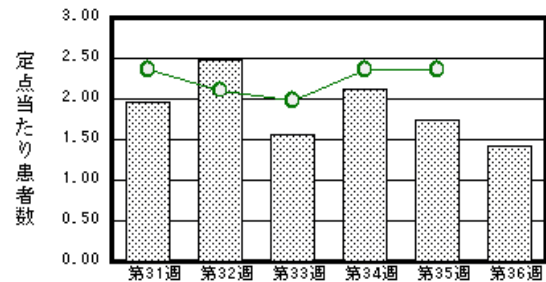
注目疾患の動向

- 1 【報告数の多い疾患】 突発性発疹 (36名) 感染性胃腸炎 (33名) ヘルパンギーナ (24名)
流行性耳下腺炎 (23名) 水痘 (21名)
- 2 【腸管出血性大腸菌感染症】O157の届出が佐賀中部保健所管内で1名、伊万里保健所管内で2名ありました。前年同時期と比較して多くなっています。手洗いや食品の温度管理、十分な加熱等一般的な食中毒予防に心がけましょう。詳しくは佐賀県感染症情報センターのホームページを御覧ください。
<http://www.kansen.pref.saga.jp/o157/o157.html>

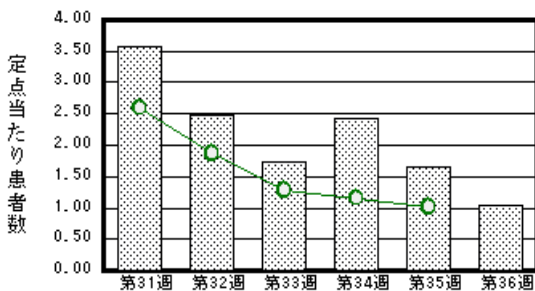
突発性発疹



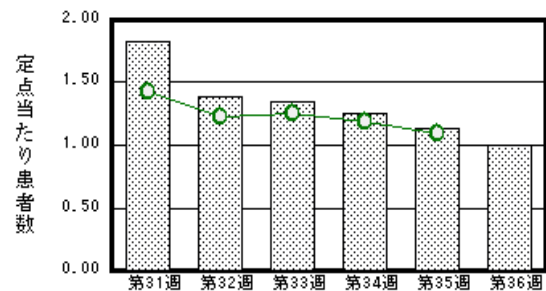
感染性胃腸炎



ヘルパンギーナ



流行性耳下腺炎



棒グラフは佐賀県、折れ線グラフは全国の数値を表しています。

各疾患の動向グラフについては佐賀県感染症情報センターのホームページを御覧ください。 <http://www.kansen.pref.saga.jp>

全国版感染症週報 (DWR) 2005年第34週号 (8月22日～8月28日) 要点

・ 発生動向総覧	< 第34週 > インフルエンザの定ポイントあたり報告数は減少したが、過去5年間の同時期と比較してやや多い / その他最新動向
・ 注目すべき感染症	< 流行性角結膜炎 > 夏季に向けて報告数が増加し、第24週以降はほぼ昨年を上回る状態が続いている < 腸管出血性大腸菌感染症 > 本年第34週までの累積報告数は2,190例である
・ 病原体情報	ヒトから検出されているVero毒素産生性大腸菌2005年 / A群コクサッキーウイルス6型2005年 / エンテロウイルス71型 & A群コクサッキーウイルス16型2005年
・ 速報	日本のAIDS患者 HIV感染者の状況 - エイズ動向委員会委員長コメント(要旨) / マラリア1999年4月～2004年12月 (2005年7月1日現在)
・ 海外感染症情報	ギニアでの黄熱流行 / A型肝炎ワクチンを小児の定期予防接種に導入すべき時期か?
・ 感染症の話	< 今週はお休みです >

詳細は国立感染症研究所感染症情報センターのホームページを御覧ください。 <http://www.idsc.nih.go.jp>

佐賀県感染症発生動向調査速報

http://www.kansen.pref.saga.jp

佐賀県感染症情報センター

全数届出の感染症 (佐賀県)

疾病名	腸管出血性大腸菌感染症 (O157) (三類感染症)	
患者 (住所地)	1名(男児) (佐賀中部保健所管内)	1名(女児) (伊万里保健所管内)
無症状病原体保有者	0名	1名
感染原因・感染経路	不明	不明
平成17年届出累計	22件47名 (今週2件3名)	
平成16年	同 期	12件30名
	届出累計	22件48名

佐賀県感染症発生動向調査

定点報告 :五類感染症 (週報分)

平成17年第36週

平成17年9月5日(月)~平成17年9月11日(日)

定点種別 (定点数)	保健所 病名	佐賀中部 保健所	鳥栖 保健所	唐津 保健所	伊万里 保健所	杵藤 保健所	計	前週	全国 (第35週)
インフルエンザ (39)	インフルエンザ (高病原性鳥イン フルエンザを除く)								113 0.02
小児科 (23)	RSウイルス 感染症								51
	咽頭結膜熱		2 0.67	2 0.50	4 1.33	5 1.00	13 0.57	21 0.91	1142 0.37
	A群溶血性レン サ球菌咽頭炎	1 0.13	1 0.33	3 0.75	3 1.00	1 0.20	9 0.39	8 0.35	1504 0.49
	感染性胃腸炎	8 1.00	16 5.33		1 0.33	8 1.60	33 1.43	40 1.74	7176 2.36
	水痘		2 0.67		5 1.67	14 2.80	21 0.91	13 0.57	1381 0.45
	手足口病	2 0.25	4 1.33		2 0.67	4 0.80	12 0.52	21 0.91	2313 0.76
	伝染性紅斑			1 0.25			1 0.04	6 0.26	696 0.23
	突発性発しん	9 1.13	12 4.00	6 1.50	3 1.00	6 1.20	36 1.57	22 0.96	2543 0.83
	百日咳								42 0.01
	風しん								16 0.01
	ヘルパンギーナ	6 0.75	5 1.67	7 1.75	2 0.67	4 0.80	24 1.04	38 1.65	3106 1.02
	麻しん (成人 麻しんを除く)								5 0.00
	流行性耳下腺炎	13 1.63	6 2.00	1 0.25		3 0.60	23 1.00	26 1.13	3333 1.09
眼科 (4)	急性出血性結膜炎								24 0.04
	流行性角結膜炎	1 0.50				2 2.00	3 0.75	3 0.75	884 1.37
基幹 (6)	細菌性髄膜炎								10 0.02
	無菌性髄膜炎								27 0.06
	マイコプラズマ肺炎			1 1.00			1 0.17	1 0.17	112 0.24
	クラミジア肺炎 (オウム病を除く)			1 1.00			1 0.17		6 0.01
	成人麻しん								1 0.00

インフルエンザは、小児科定点 + 内科定点。

細字は定点当たり患者数

(注) 印は、平成15年11月5日以降届出対象疾患。全国の集計は34週分 (患者報告数) である。

佐賀県感染症発生動向調査 (定点報告 :五類感染症)

平成17年第36週 平成17年9月5日(月)~平成17年9月11日(日)

インフルエンザ 定点	インフルエンザ (高病原性鳥イン フルエンザを除く)	小児科 定点	RSウイルス 感染症	咽頭結 膜熱	A群溶 血性レ ンサ球 菌咽頭 炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口 病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	百日咳	風しん	ヘルバ ンギー ナ	麻しん (成人 麻しん を除く)	流行性 耳下腺 炎	眼科 基幹 定点	急性出血 性結膜炎	流行性角 結膜炎	細菌性髄 膜炎	無菌性髄 膜炎	マイコプ ラズマ肺 炎	クラミジア 肺炎(オ ウム病を 除く)	成人麻し ん	
6ヶ月未満		6ヶ月未満				2				3						6ヶ月未満							1	
12ヶ月未満		12ヶ月未満		1		4	3			18			2			12ヶ月未満								
1歳		1歳		2		4	4	5		13			4		2	1歳								
2歳		2歳		2	1	9	8	4		2			6		2	2歳								
3歳		3歳		2	3	2	3	1					1		6	3歳		2						
4歳		4歳		1	2	4	2	1					3		4	4歳								
5歳		5歳		1		1	1		1				2		4	5歳								
6歳		6歳		3	1	1									3	6歳						1		
7歳		7歳		1		2		1								7歳								
8歳		8歳			1	1							2		1	8歳								
9歳		9歳			1	1							2		1	9歳								
10歳~14歳		10歳~14歳				1							2			10歳~14歳								
15歳~19歳		15歳~19歳														15歳~19歳								
20歳~29歳		20歳以上				1										20歳~29歳								
30歳~39歳																30歳~39歳		1						
40歳~49歳																40歳~49歳								
50歳~59歳																50歳~59歳								
60歳~69歳																60歳~69歳								
70歳~79歳																70歳以上								
80歳以上																								
合計		合計		13	9	33	21	12	1	36			24		23	合計		3				1	1	
前期計		前期計		21	8	40	13	21	6	22			38		26	前期計		3				1		
当期間/前	***	当期間/前	***	0.62	1.13	0.82	1.62	0.57	0.17	1.64	***	***	0.63	***	0.88	当期間/前	***	1	***	***		1	***	***
増減数		増減数		-8	1	-7	8	-9	-5	14			-14		-3	増減数							1	

(注) 印は、平成15年11月5日以降届出対象疾患

***は前期計が"0"のとき

